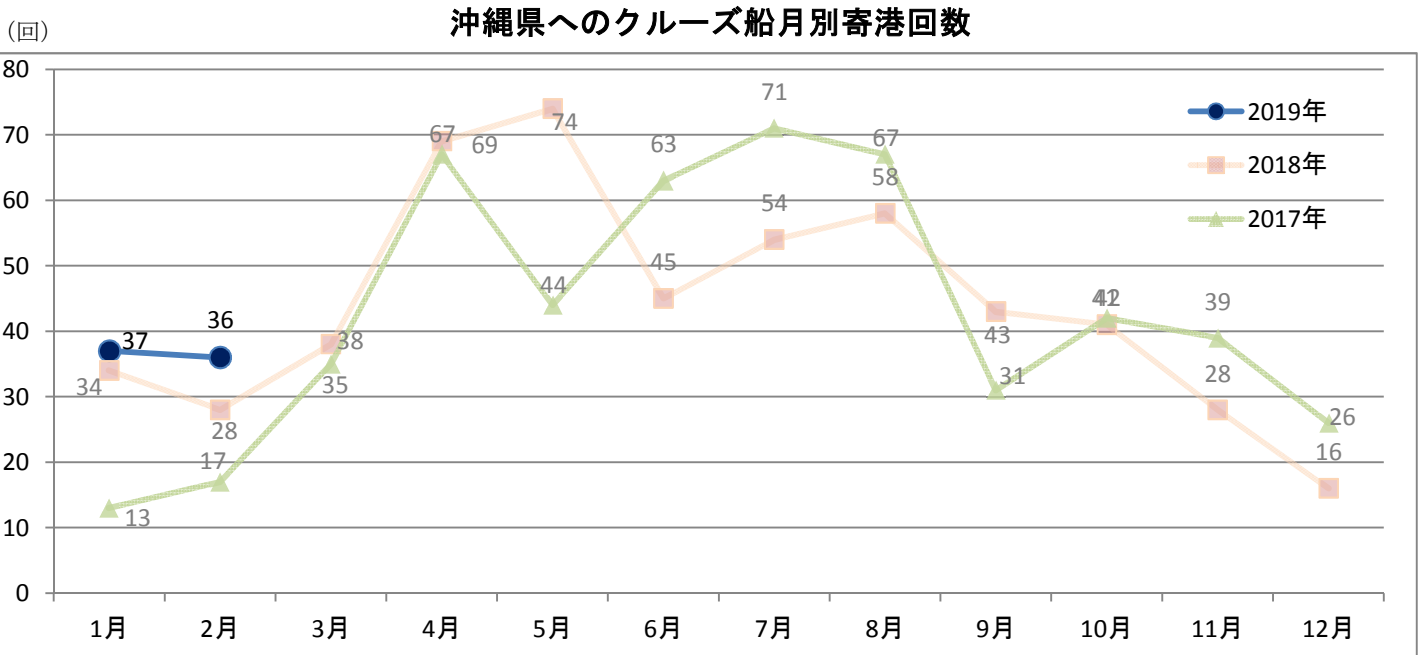


OKINAWA Cruise Report (3月号)

○2019年クルーズ船寄港回数（平成31年2月末までの速報値）

2019年2月のクルーズ船寄港回数は、36回（前年同期比8回増）
 2019年2月までのクルーズ船寄港回数は73回（前年同期比11回増）



2018・2019年 沖縄県内へのクルーズ船寄港回数

単位：回

月	2018			2019			前年同期比		
	外国船	日本船	計	外国船	日本船	計	外国船	日本船	計
1	33	1	34	36	1	37	1.09	1.00	1.09
2	28	0	28	34	2	36	1.21	-	1.29
3	38	0	38			0	-	-	0.00
4	55	14	69			0	-	-	0.00
5	74	0	74			0	-	-	0.00
6	45	0	45			0	-	-	0.00
7	54	0	54			0	-	-	0.00
8	58	0	58			0	-	-	0.00
9	43	0	43			0	-	-	0.00
10	41	0	41			0	-	-	0.00
11	27	1	28			0	-	-	0.00
12	14	2	16			0	-	-	0.00
計	510	18	528	70	3	73	1.15	3.00	1.18

出典：港湾管理者からの聞き取りに基づき沖縄総合事務局が作成

各港における2月末までの寄港回数 (計:73回)

港湾名	寄港回数	港湾名	寄港回数	港湾名	寄港回数
那覇	34	平良	22	石垣	17



内閣府

Okinawa Cruise Topics

・国土交通省は3月1日、「官民連携による国際クルーズ拠点」となる港湾として、那覇港と下関港を追加選定したことを発表しました。今後、港湾法に定める指定要件の該当状況を確認し、国土交通大臣により「国際旅客船拠点形成港」として指定される見込みです。

那覇港管理組合はこれまで、国際クルーズ拠点化を目指すため、MCSクルーズ（スイス）とロイヤル・カリビアン・クルーズ（米国）を連携船社に選定し、「官民連携による国際クルーズ拠点形成計画書」を策定しました。

同計画によると沖縄県が策定した「東洋のカリブ構想」の実現に向け、沖縄県、近隣市町村、関係機関等と連携強化を図りながら、県内港湾の中核的な役割を果たせるよう、クルーズ船寄港の増加及び那覇港発着のフライ&クルーズを推進し、質の高い世界水準の国際観光リゾート地の実現を目指す考えです。

【今後の注目点】

・ゲンティンクルーズライン（GCL）傘下でドリームクルーズに所属する「エクスプローラー・ドリーム（75, 338GT）」が3月30日（土）に石垣港、4月1日（月）に那覇港にそれぞれ初寄港します。

同船はこれまで、同じくGCL傘下のスタークルーズ所属の「スーパースター・ヴァーゴ」として、2018年には那覇港、石垣港、平良港に計38回の寄港実績があります。

この度、スタークルーズ社からドリームクルーズ社へ移籍するとともに、約1ヶ月にわたる改修を経て、再び沖縄へのクルーズを開始します。

【問い合わせ先】 内閣府沖縄総合事務局開発建設部港湾計画課

担当者：與儀、高島、宮里 TEL：098-866-1906、FAX：098-861-9916